

スマートテック

スマエネ機器のトータル提案強化 年商60億円目指す



岡大輔取締役

茨城県水戸市を本拠とし、スマエネ機器の販売・施工から、小型風力機器の販売、水まわりリフォーム、新電力まで幅広く事業を手掛けるスマートテック(小寺雄三社長)の15年度売上高は、28.5%増の36億円であった。太陽光発電システムや蓄電池、エコキュートなどスマエネ機器の販売・施工が堅調だったほか、支店新設や、水まわり専門店『みずテック』の開設で事業を拡大させ、営業の効率化や新規顧客の獲得に動いたことによる。今年度は人材育成による営業力の強化、セット販売に注力し、約60億円と約66%もの大幅増を目指すとしている。

関東、東北を主な活動エリアとする同社では、既築向けに年間1000件ペースで住宅の高性能化を進めている。主な取扱い製品は太陽光発電システム、蓄電池、エコキュート、HEMSで、ほぼ全メーカーを取り揃える。同社の岡大輔取締役は「商材、ブランドに頼ることなく、コンスタントに販売・施工することを意識してきた。今後は自家消費社会を見据え、スマートハウス化のトータル提案を強めていく。価格帯はIHクッキングヒーターも含め300~400万円程度とし、客単価アップを狙う」とした。なお、西日本への活動エリア拡大も検討している。

■売上高推移

